

温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業



【令和7年度予算額 2,178百万円 (2,423百万円)】

衛星等による人為起源温室効果ガス排出源の特定及び排出量推計精度の向上を目指します。

1. 事業目的

- ① 全球の温室効果ガス (GHG) の排出・吸収を、網羅的かつ高精度の観測データに基づき推計・評価するため、GOSATシリーズのたゆまぬ運用改善により、世界的GHG観測体制の一角を担うことで、気候科学の発展に貢献する。
- ② 観測に基づきGHG排出量を推計する手法を開発・改善し、パリ協定に基づき各国が算出する報告値や統計データからの推計値と比較検証することで、世界及び我が国の気候変動対策の進捗確認に活用する。

2. 事業内容

①GOSAT-2衛星観測システムの運用

- ・ 2018年に打ち上げたGOSAT-2の運用 (衛星の軌道制御、健全性の確認、捕捉・追尾、データの受信・処理、観測データの品質管理等) を継続実施する。

②GHG濃度算出と人為起源排出量の推計と検証

- ・ GOSATシリーズ等の観測データを用いて、各国が公表するGHG排出インベントリとの比較・評価を実施する。また、GOSAT-GWのミッション要求に従った検証を進める。そのために令和7年度は下記の事項を実施する。

- (1) GHG濃度算出アルゴリズムの高度化
- (2) 高次プロダクトの検証
- (3) 全球及び国別の人為起源GHG排出量推計と検証

③GOSAT-GW衛星観測システムの運用

- ・ 宇宙基本計画 (令和5年6月閣議決定) 及び工程表 (令和6年12月宇宙開発戦略本部決定) に基づき、令和7年度前半に打ち上げるGOSAT-GWの観測システムの機能確認・運用を着実に実施する。

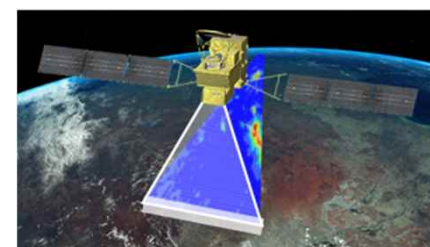
3. 事業スキーム

- | | |
|--------|-----------|
| ■ 事業形態 | 委託事業 |
| ■ 委託先 | 民間事業者・団体等 |
| ■ 実施期間 | 平成26年度～ |

4. 事業イメージ



GOSAT-2衛星観測システムの運用



(↑) GOSAT-GW衛星運用イメージ

GOSAT-GW衛星観測システムの運用

